mitoco Buddy

mitoco Buddy 2026.06.16 リリースノート

リリース日:2026 年 6 月 16 日

目次

はじめに 4
1　リリース内容 5
1.1 kintone MCP 連携機能の追加 5
1.2 チャット画面での MCP ツール利用 7
1.3 エージェントでの Web アプリ構築/ウィジェット生成/TTS 機能サポート 9
1.4 マイドライブ機能向上 12
1.5 管理者が設定した MCP のエージェント利用機能 13
1.6 最新 AI モデルへの対応 13
1.7 Web Builder 改善 14
1.7.1 顧客企業ドメイン(マルチドメイン)の設定機能 14
1.7.2 公開アプリの一覧管理・削除機能 15
1.7.3 公開範囲設定の柔軟化 16
1.8 EdgeTunnel を通じたローカルネットワークへのアクセス 16
1.9 スキルのダイレクト呼び出し機能(/ スラッシュコマンド) 17
1.10 [管理者]構成型連携の Client ID と Secret を再利用 18
1.11 [管理者]スキルにおける外部 API 認証情報の管理機能の追加 19
1.12 [管理者]エージェントごとの利用量確認 20
1.13 [管理者]エージェントのキオスクモード共有 21
1.14 [管理者]チャット再帰制限のデフォルト値と上限値管理 22
1.15 [管理者]知識バンドルのチャンクサイズ / オーバーラップ設定 24
1.16 [管理者]ユーザーの一括有効化・無効化機能の追加 25
1.17 [管理者]タグを利用したエージェントの共有範囲設定機能の追加 25
1.18 UX 改善 26
1.18.1 エージェント一覧の識別性向上 26
1.18.2 インライン「File Viewer」の導入 27
1.18.3 ファイルアップロード制限の変更 27
1.18.4 Custom Remote MCP ツール一覧の手動再取得 28
1.19 その他の機能改善 28
1.20 不具合の修正 29

1.21 Lingo の機能改善、修正 29
1.21.1 機能改善 29
1.21.2 不具合修正 30
2 お問い合わせ先 32
3 免責事項 32

はじめに

本リリースノートでは、mitoco Buddy の主要な新機能や、既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能および機能強化には、既存の環境に影響を与える可能性があるものがあります。より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトをご参照ください。

ヘルプサイト：https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide
※本リリースよりヘルプサイトを変更しました。

■ 概要

2026.06.16 アップデートでは、以下の機能を強化または追加しています。詳細については、ハイパーリンクをクリックしてください。

- kintone MCP 連携機能の追加
- チャット画面での MCP ツール利用
- エージェントでの Web アプリ構築/ウィジェット生成/TTS 機能サポート
- マイドライブ機能向上
- 管理者が設定した MCP のエージェント利用機能
- 最新 AI モデルへの対応
- Web Builder 改善
- EdgeTunnel を通じたローカルネットワークへのアクセス
- スキルのダイレクト呼び出し機能（/ スラッシュコマンド）
- [管理者]構成型連携の Client ID と Secret を再利用
- [管理者]スキルにおける外部 API 認証情報の管理機能の追加
- [管理者]エージェントごとの利用量確認
- [管理者]エージェントのキオスクモード共有
- [管理者]チャット再帰制限のデフォルト値と上限値管理
- [管理者]知識バンドルのチャンクサイズ / オーバーラップ設定
- [管理者]ユーザーの一括有効化・無効化機能の追加
- [管理者]タグを利用したエージェントの共有範囲設定機能の追加
- UX 改善
- その他の機能改善
- 不具合の修正
- Lingo の機能改善、修正

1　リリース内容

1.1　kintone MCP 連携機能の追加

kintone MCP 連携機能が追加されました。

何ができるようになるのか：

kintone（キントーン）のアプリやスペースと連携し、データの取得や操作をエージェントを通じて行えるようになります。具体的には、レコードの検索・追加・更新・削除、コメントの読み書き、添付ファイルのアップロードやダウンロード、ワークフロー（プロセス管理）の進捗変更などが可能です。また、管理者向けの機能として、エージェントを介して kintone アプリのフォームやレイアウトなどの設定を変更・反映（デプロイ）することもできます。

メリット：

- 安全なデータアクセス：OAuth2 認証に対応しているため、kintone 内のデータへセキュア（安全）にアクセスできます。
- 業務の効率化と自動化：データの確認からコメントの追加、ファイルのやり取り、ワークフローの進行までをエージェントに任せられるため、ツール間を行き来する手間を減らせます。
- アプリ管理の円滑化（管理者向け）：信頼された管理者は、エージェントとの対話を通じて kintone アプリの設定や変更作業をスムーズに行えます。

kintone アプリ例

kintone アプリとの連携例

ⓘ 補足
● ご利用を始めるための設定：本連携を行うには、事前に kintone 側で OAuth クライアントを追加し、その OAuth クライアントに対して利用者の設定を行う必要があります。

1.2　チャット画面での MCP ツール利用

チャット画面での MCP 利用機能が追加されました。

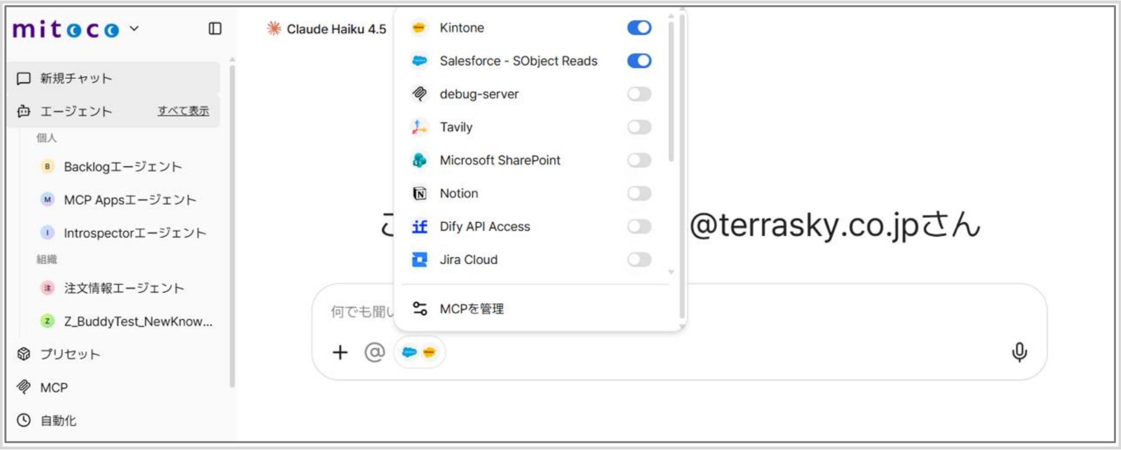
何ができるようになるのか:

チャット画面から、事前にプリセットやエージェントを作成することなく、直接 MCP ツールを利用できるようになります。チャット画面にある MCP アイコンから使いたいツールを複数選ぶだけで、会話の内容に応じてエージェントが選択した MCP ツールを自動で呼び出し連携します。

メリット:

面倒なプリセット設定やエージェント構築の手間がなく、チャット画面からその場ですぐに MCP ツールを組み合わせて活用できます。

MCP ツールの選択



実行例

Claude Haiku 4.5
共有
SalesforceとKintone顧客アプリから顧客を3件づつ表示
午後 3:24
Salesforceから最近見た顧客を3件取得して表示する
Kintone アプリを検索して顧客管理アプリを見つける
Kintone 顧客リストアプリから顧客3件を取得して表示する
Salesforceと Kintone の両方から顧客データを取得します。各システムから3件ずつ表示します。
Kintone の顧客リストアプリ（アプリID: 1）が見つかりました。次に、このアプリから顧客データを取得します。
取得完了しました。Salesforce と Kintone の顧客データを3件ずつ表示します。
Salesforce の顧客（最近見た取引先）
No.
取引先名
ID
1
光洋商事
001g500000H63ZLAAZ
何でも聞いてください

1.3 エージェントでの Web アプリ構築/ウィジェット生成/TTS 機能サポート

これまではプリセットで利用可能だった「Web アプリ」や「ウィジェット（画面パーツ）」、「AI 音声応答（TTS）」の機能がエージェントでも利用可能になりました。

何ができるようになるのか：
エージェントとのチャットを通じて、これまでのテキストやコードアーティファクトの出力だけでなく、実際にブラウザで動く「Web アプリ」や「ウィジェット」を自動で作成・構築できるようになります。また、エージェントの回答を音声で読み上げる「AI 音声応答（TTS）」機能も新たにサポートされます。

メリット：
プログラミングの専門知識がなくても、チャットで「～のアプリを作って」と普段通りの言葉で指示するだけで、Salesforce などのデータをグラフ化した専用の Web アプリや画面パーツが瞬時に完成します。リアルタイムなデータを視覚的に素早く把握できるようになり、業務に合わせたデータ活用のスピードが向上します。

■ エージェントの設定方法

エージェントの詳細画面にある「成果物」のドロップダウンから、そのエージェントが応答ごとに生成する形式（ウェブアプリを作成 / ウィジェットを作成 / コードアーティファクトを生成）をあらかじめ設定します。また、「AI 音声応答を使用」のスイッチを ON にすることで、音声での読み上げを設定できます。

■ エージェントの使い方の例

ステップ 1：作成したい成果物を指定して指示を出す

例えばチャット入力欄の「＋」ボタンから「ウェブアプリ」などの形式を選択し、「売り上げ上位 5 件をグラフ表示するアプリ作成」と入力して送信します。

ステップ 2：エージェントがデータをまとめ、専用 URL を発行

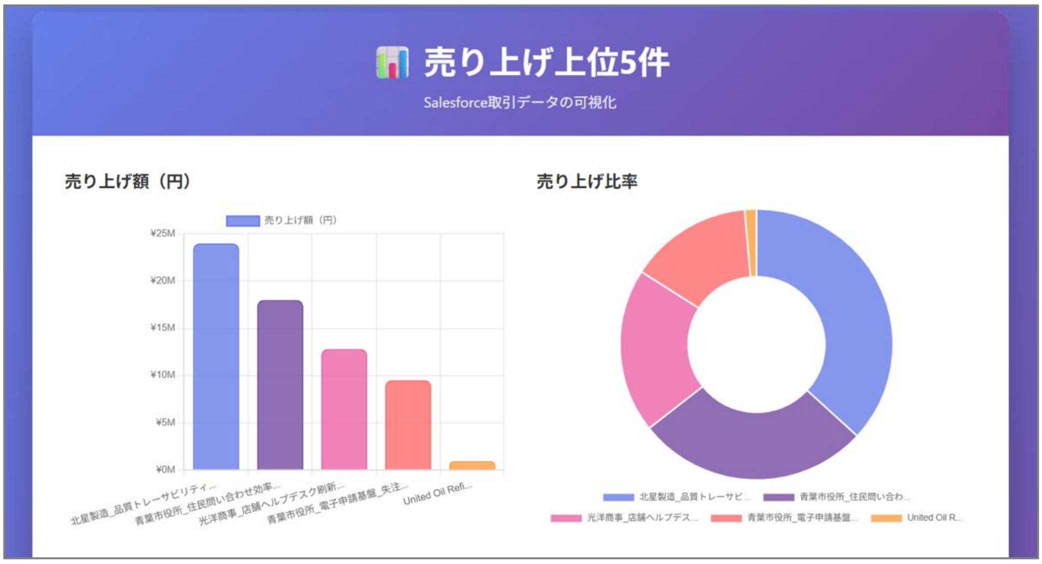
エージェントが自動で Salesforce からデータを読み込んでチャット上に表を表示し、同時に視覚的に確認するための専用の「アプリ URL」をその場で作成・案内します。

📊 表示データ

順位	案件名	売り上げ額	ステータス
1位	北星製造_品質トレーサビリティ強化	¥24,000,000	Needs Analysis
2位	青葉市役所_住民問い合わせ効率化	¥18,000,000	Proposal/Price Quote
3位	光洋商事_店舗ヘルプデスク刷新	¥12,800,000	Negotiation/Review
4位	青葉市役所_電子申請基盤_失注	¥9,500,000	Closed Lost
5位	United Oil Refinery Generators	¥915,000	Closed Won

ステップ 3：生成された Web アプリを確認する

発行された URL をブラウザで開くと、指示通りにデータが綺麗なグラフ（棒グラフや円グラフなど）に可視化された Web アプリが表示され、リアルタイムな状況を一目で把握できます。



1.4　マイドライブ機能向上

個人専用のファイルストレージである「マイドライブ」に次の機能向上を行いました。

- **ファイルビューア**
  マイドライブに保存されたファイルをダウンロードせずに、mitoco Buddy 上のビューアで内容を確認できるようになりました。

- **チャット結果ファイルのダウンロード**
  チャットで生成された文書やファイルをマイドライブファイルリンクから開いてダウンロードできます。リンクから開く際にはユーザー認証が行われ安全にダウンロードできます。

ファイルビューア

1.5 管理者が設定した MCP のエージェント利用機能

何ができるようになるのか：
管理者ユーザーが作成した MCP をエージェントで利用できるようになりました。

メリット：

- **一元管理による設定の効率化**
  管理者ユーザーが一度設定を済ませれば、一般ユーザーが個別に再設定する手間がかかりません。
- **一般ユーザーが設定しないことによる安全性の向上**
  外部サービスとの連携に必要な機密情報（例：OAuth2 認証の[Client ID]や[Client Secret]、API キーなど）は管理者ユーザーのみが設定・管理します。一般ユーザーにこれらの重要なシークレット情報を明かすことなく、安全に連携機能だけを利用させることができます。

1.6 最新 AI モデルへの対応

より高度な思考と自然な対話を実現するため、最新の AI モデルに対応しました。
用途に応じてモデルを切り替えてご利用いただけます。

- 新対応モデル： Claude Opus 4.8

1.7 Web Builder 改善

Web Builder 機能の運用における柔軟性と管理機能が大幅に強化されました。

1.7.1 顧客企業ドメイン（マルチドメイン）の設定機能

何ができるようになるのか：
ブランドごとに事前登録されたドメイン（frontend domain、web app runtime domain、cookie domain）を、Web Builder アプリに適用できるようになりました。

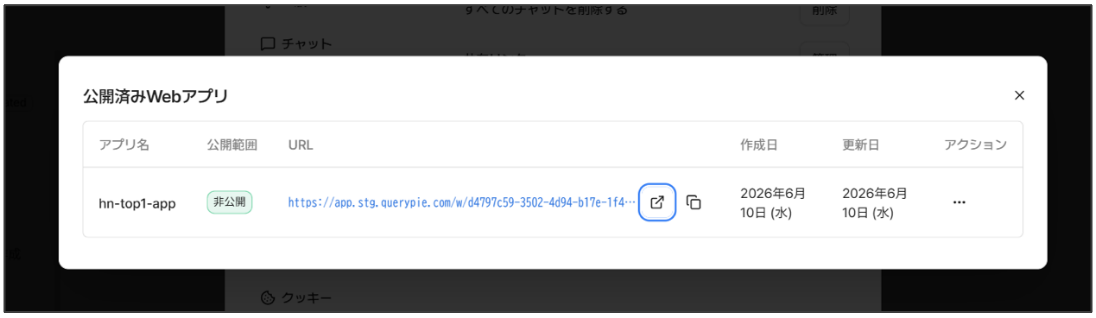
> **補足**
> 本機能は、エンドユーザーが任意のドメインを自由に入力して DNS 検証を行う「Custom Domain 機能」ではありません。

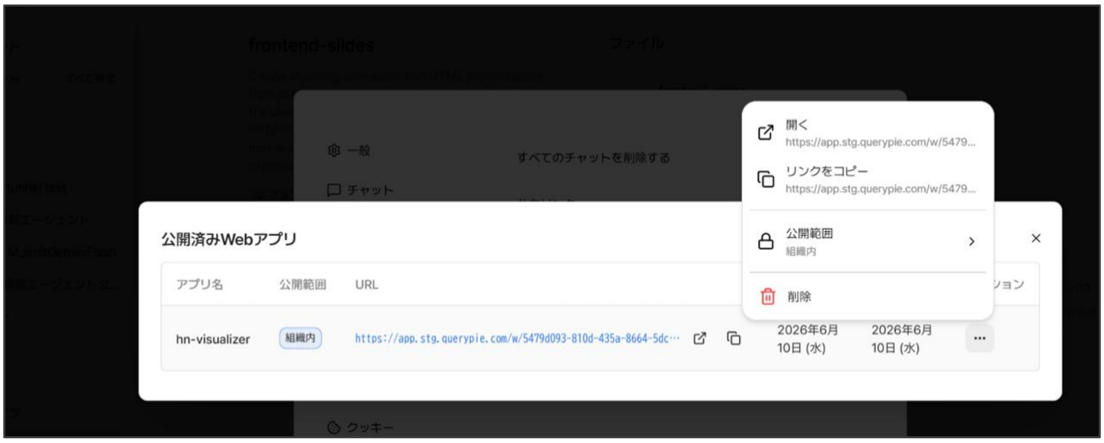
例：app.test.com でアプリを作成・共有し、実際の Web App runtime は web.app.test.com のような別オリジン（Origin）で実行させる、といった安全かつブランドに最適化された運用が可能です。

1.7.2 公開アプリの一覧管理・削除機能

何ができるようになるのか:
Web Builder で公開したアプリの一覧をダッシュボード上で一元管理し、不要になったアプリを直接削除できるようになりました。

ユーザーアイコン -「設定」-「データコントロール」- 「公開済み Web アプリ」





1.7.3 公開範囲設定の柔軟化

概要:
アプリを公開する際のアクセス権限や公開範囲のオプションが拡張され、よりターゲットに合わせた柔軟な公開設定が可能になりました。

1.8 EdgeTunnel を通じたローカルネットワークへのアクセス

何ができるようになるのか:

スキルを実行する仮想コンテナ環境から、Edge Tunnel を経由して、外部に公開されていない社内ネットワーク(オンプレミス環境)や個人のパソコンへ直接データをリクエストできるようになりました。

■ 使用方法

EdgeTunnel の有効化:

- **一般チャット / 個人エージェント:**
  画面上から直接「Edge Tunnel」を有効化します。
- **組織エージェント:**
  スキル下部にある Edge Tunnel スコープ を設定し、そのスコープに応じて有効化します。
- **チャットでの指示方法:**
  チャット画面で

```
http://localhost.tunnel:に接続して進めてください。
```

の形式または以下のように指示を出します。

```
lcalhost.tunnel:3000 に接続して進めてください。
```

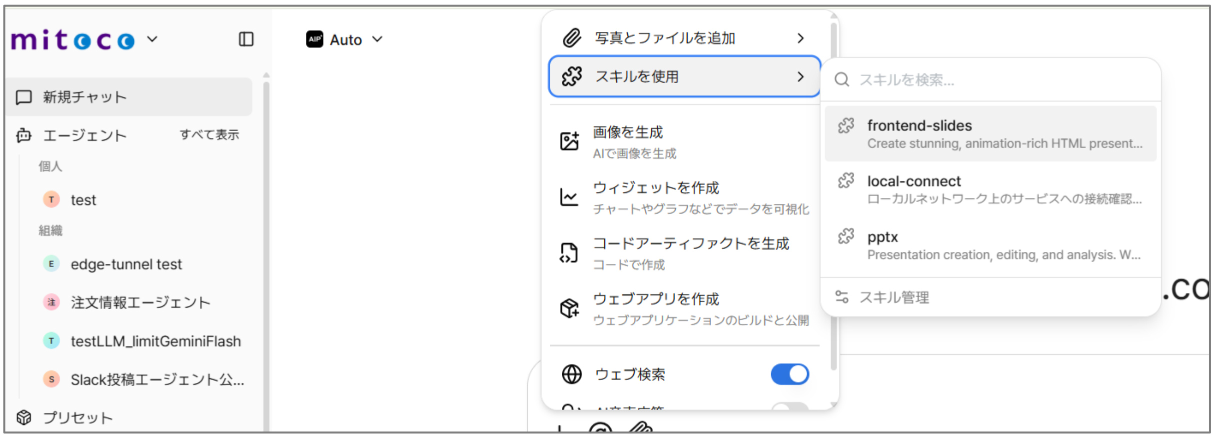
⚠ 注意

- Web 検索が有効な場合、または組織エージェントに Web 検索 MCP(Tavily など)が連携されている場合、上記のように指示しても外部の Web アドレスへ接続しにいってしまうことがあります。
- **対策:** Web 検索を一時的に無効化するか、指示に以下の文言を追加してください。
  「内部スキルを使用して localhost.tunnel:3000 に接続して進めてください。」
  ※「内部スキル」とは、ユーザーが定義したスキルではなく、デフォルトで内蔵されているシステムスキルを指します。

1.9　スキルのダイレクト呼び出し機能(/ スラッシュコマンド)

何ができるようになるのか:
チャット画面から、利用したいスキルを直接選択したり、スラッシュ(/)を入力したりすることで素早くスキルを呼び出せるようになりました。

メリット:
コマンド感覚でスムーズに特定のスキルを実行でき、チャットの作業効率が劇的に向上します。



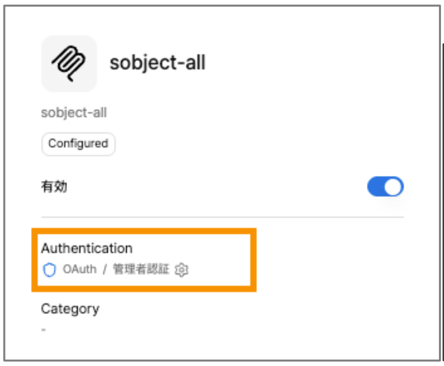
1.10 [管理者]構成型連携の Client ID と Secret を再利用

何ができるようになるのか:

管理者が Custom Remote MCP を登録する際に、認証に必要な情報
(Client ID、Client Secret および認証資格情報)を事前に登録できるようになりました。

メリット:

- **ユーザーの入力負担を解消:**
  従来のように、各ユーザーが個別に複雑な認証情報を入力・管理する運用の負担が完全になくなります。
- **セキュリティの一元管理:**
  管理者が認証情報をまとめて安全に管理できるため、紛失や誤入力を防ぎ、組織全体の安全性を高めることができます。



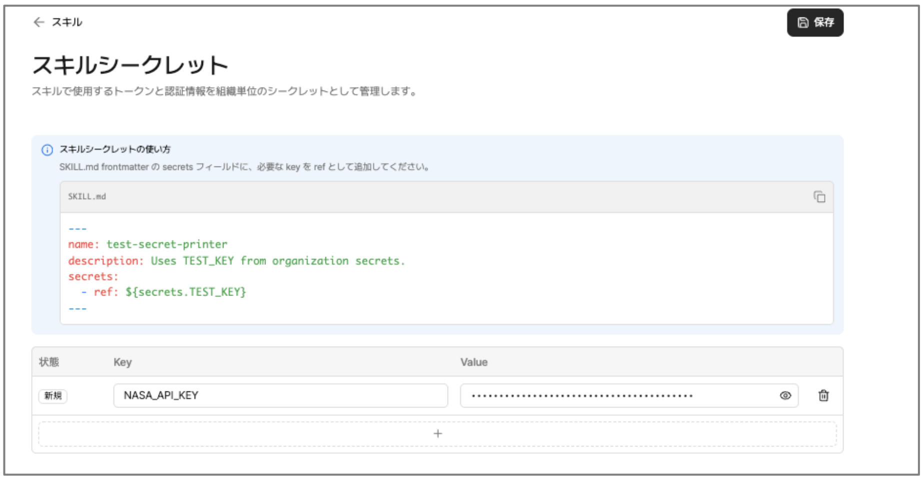
1.11 ［管理者]スキルにおける外部 API 認証情報の管理機能の追加

何ができるようになるのか:

スキルを利用して外部 API を呼び出す際に、API キーなどの機密情報(シークレット情報)を安全に登録し、システム内から安全に参照できるようになりました。

メリット:

- **セキュリティの強化:**
  ソースコードや一般的な設定値のなかに API キーを直接書き込む必要がなくなるため、大切な認証情報の漏えいリスクを確実に防ぎます。
- **メンテナンスの効率化:**
  API キーの変更や更新が必要になった場合も、専用の管理画面から一元的に書き換えるだけで済むため、運用の手間を大幅に削減できます。



1.12 [管理者]エージェントごとの利用量確認

組織管理者が各エージェントの稼働状況やコストを把握できるエージェントごとの利用量確認が、管理者メニュー「利用状況分析」に追加されました。

何ができるようになるのか:

組織の管理者が、デプロイされているエージェントごとの利用回数や消費されたクレジット量を、専用のダッシュボードで詳細に確認できるようになります。また、よく使われているエージェントのランキングや、直近で動いたエージェントの履歴も一覧でスマートに把握できます。

メリット:

組織内でどのエージェントが活発に利用されているか、またどこにどれだけのコスト(クレジット)がかかっているかが可視化されます。これにより、利用頻度の低いエージェントの見直しや、今後のクレジット運用の計画・予算管理がスムーズに行えるようになります。

1.13［管理者］エージェントのキオスクモード共有

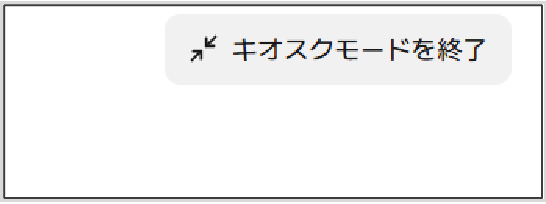
特定のエージェントをチャット専用画面で共有できる「キオスクモード」機能が追加されました。

何ができるようになるのか：
特定のエージェントのチャット機能だけを利用できる、専用の共有リンク（URL）を発行できるようになります。ユーザーがこのリンクにアクセスすると、通常のメニューや他のエージェントは非表示になり、そのエージェントとのチャットだけに特化したシンプルな画面（キオスクモード）が表示されます。

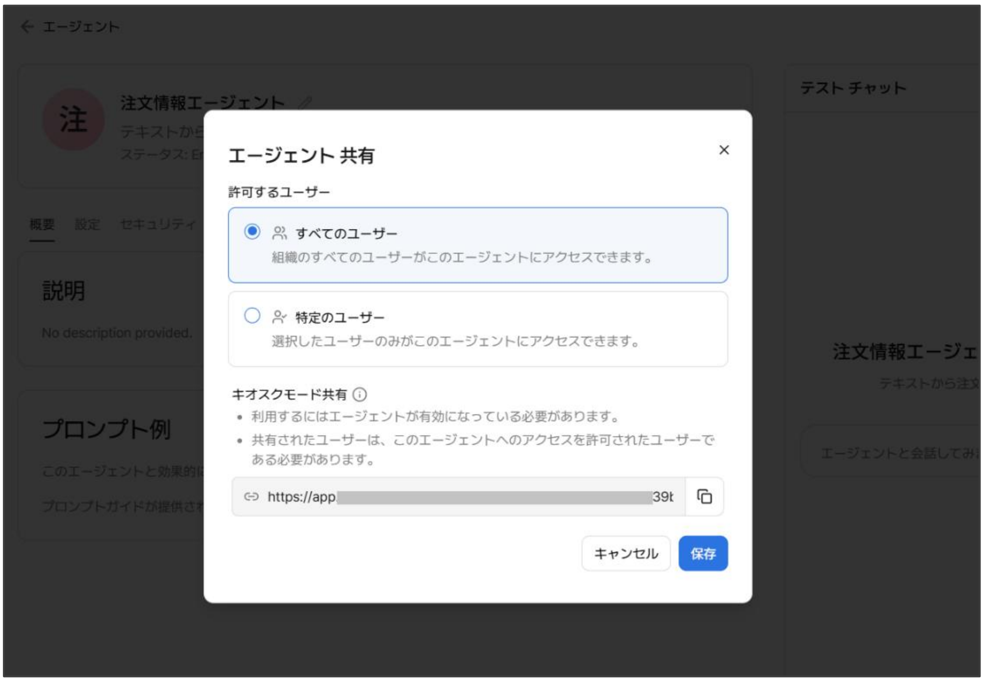
メリット：
よく使うお気に入りのエージェントの専用リンクをブラウザのブックマーク（お気に入り）に登録しておくことで、毎回メニューから探す手間を省き、最小限の操作ですぐにチャットを始められます。画面がすっきりするため、迷わずスムーズに作業に集中できます。

■ 操作方法

通常の画面に戻るには：
画面右上にある［キオスクモード終了］ボタンを押すと、いつでも見慣れた通常のメニュー画面に戻ることができます。特定の機能を強制するものではありませんので、用途に合わせて便利にご活用ください。



共有範囲の設定：
エージェントを共有する側（作成者・管理者）は、組織内の「すべてのユーザー」にアクセスを許可するか、選択した「特定のユーザー」のみに限定するかを選ぶことができます。



ご利用の条件：
共有されたリンクを開いてチャットを利用するには、対象のエージェントが有効になっていること、およびアクセスするユーザー自身がそのエージェントの利用権限を持っている必要があります。

1.14 ［管理者］チャット再帰制限のデフォルト値と上限値管理

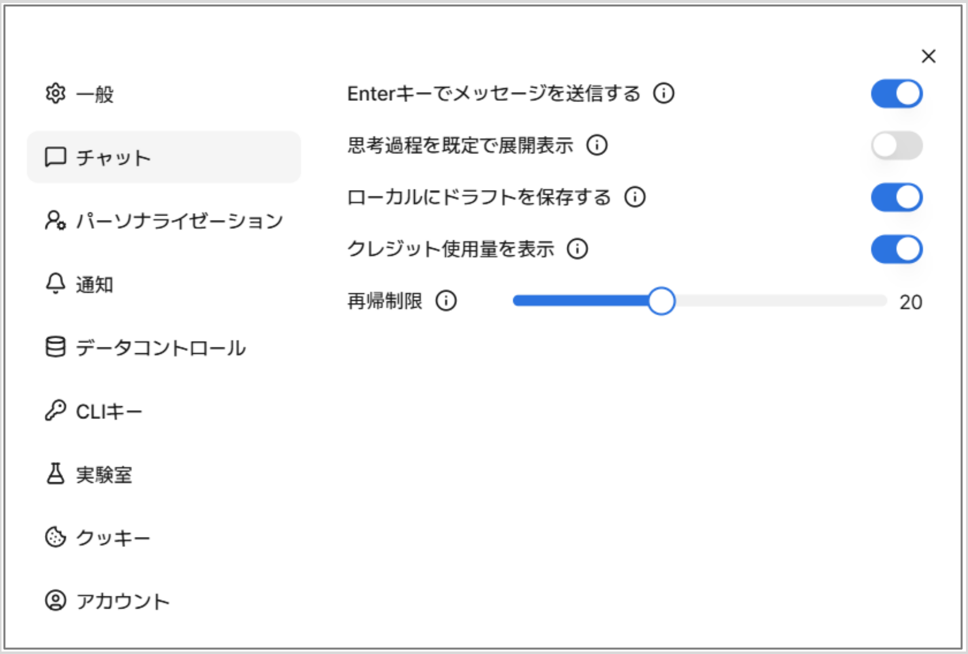
チャット再帰制限のデフォルト値と上限値管理機能が追加されました。

何ができるようになるのか：
管理者が組織全体における「チャット再帰制限」（AI ツールを連続で呼び出す最大回数）の既定値（デフォルト値）と上限値を一括で設定できるようになります。
ユーザーは、管理者が設定した上限値の範囲内で、自身のチャット設定から「再帰制限」の回数を自由に調整できます。

メリット：
初期設定の手間を削減： 組織共通の既定値があらかじめ自動で適用されるため、ユーザー個別に設定し直す手間が省け、運用管理が向上します。
長く動くエージェントを使う必要がある場合でも、管理者が設定した安全な範囲内（上限値内）でループ回数を柔軟にカスタマイズして実行でき、安全で柔軟なエージェント運用が可能です。

管理者の[セキュリティ]メニューから既定値と上限値を設定

ユーザーは管理者の許可範囲内で変更可能



1.15 [管理者]知識バンドルのチャンクサイズ / オーバーラップ設定

知識バンドル作成時に、埋め込みオプション(チャンクサイズ / オーバーラップ)のカスタマイズ機能が追加されました。知識バンドルとは、生成 AI が社内文書などの外部データを検索して正確な回答を行う仕組み(RAG)において、エージェントが質問に答える際のリファレンス(参考元)として読み込ませる文書をまとめたものです。

何ができるようになるのか:

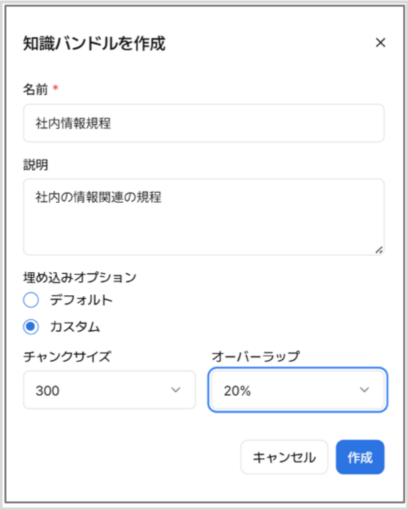
エージェントが質問に回答する際のリファレンス(参考元)となる知識バンドルを作成する際、文章の分割方法をカスタマイズできるようになります。あらかじめ用意されたプリセット値から、任意の「チャンクサイズ」と「オーバーラップ」を自由に選択して設定可能です。

既定の設定値は、チャンクサイズ:500 / オーバーラップ:20% です。

- **チャンクサイズ:**
  登録した文書を AI が検索・理解しやすいように小さく区切る際の、1 つあたりの文字数の目安です。
- **オーバーラップ:**
  分割した文章の境目で、前後の文章をどれだけ重複させるかの割合です。文章が途中で不自然に途切れ、文脈が失われるのを防ぐ役割があります。

メリット:

登録する社内規定やマニュアルなどの文書の特性(文章の長さ、構成、専門性など)に応じてパラメーターを細かく調整できるようになります。これにより、エージェントの回答精度を最適化できます。



ⓘ 補足

- 作成済みの知識バンドルのチャンクサイズ/オーバーラップを後から変更することはできません。

1.16 [管理者]ユーザーの一括有効化・無効化機能の追加

複数のユーザーを選択して一括で「有効化」または「無効化」ができるようになりました。

1.17 [管理者]タグを利用したエージェントの共有範囲設定機能の追加

タグが設定された特定のユーザーがエージェントを利用できるように、共有範囲を制限・コントロールできるようになりました。

1.18 UX 改善

ユーザーの皆様がより直感的かつスムーズに作業できるよう、インターフェースと仕様を最適化しました。

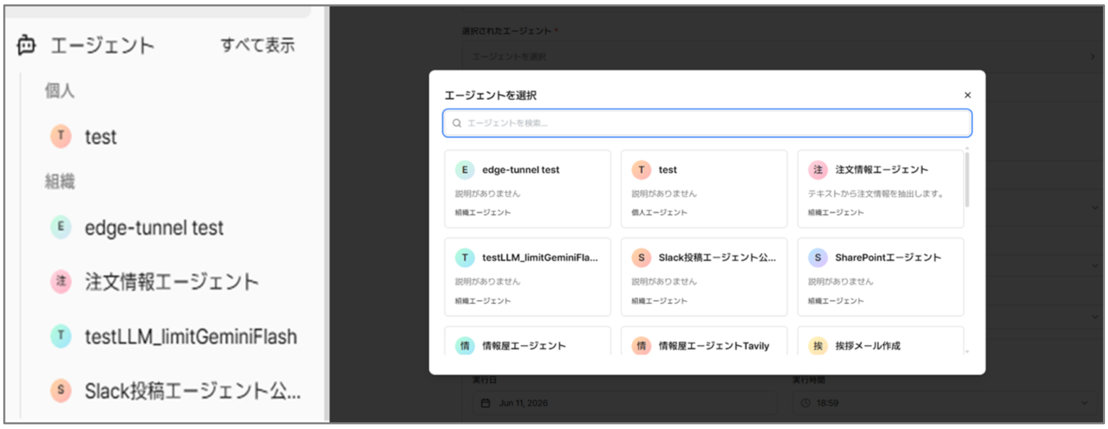
1.18.1 エージェント一覧の識別性向上

何ができるようになるのか：

エージェント一覧画面において、「個人エージェント」と「組織エージェント」が明確に区別できるようになりました。

メリット：

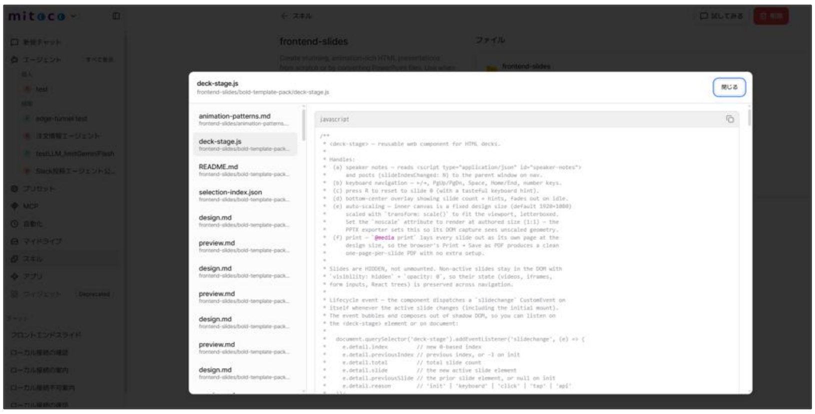
自分が作成したプライベートなエージェントと、組織全体で共有されているエージェントの判別が容易になり、目的のエージェントへ素早くアクセスできます。



1.18.2 インライン「File Viewer」の導入

何ができるようになるのか：
マイドライブ、スキル、ナレッジ内の各種コンテンツ（ファイル）を、ローカルにダウンロードすることなく画面上で直接確認できるビューア機能を搭載しました。

メリット：
ファイルをいちいちダウンロードする手間とストレージ消費を削減し、ブラウザ内だけでシームレスに内容をチェックできます。



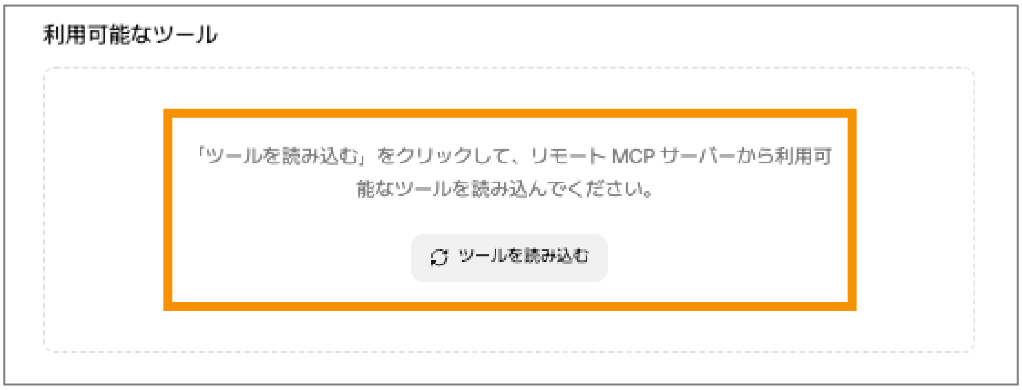
1.18.3 ファイルアップロード制限の変更

何ができるようになるのか：
1 回の会話（ターン）ごとにアップロードできるファイルの合計サイズ上限が 200MB に変更されました。

制限ルール：
- 合計 200MB 以下：アップロード可能です。
- 合計 200MB 超過：アップロードが制限され、以下のエラーメッセージが表示されます。

1.18.4 Custom Remote MCP ツール一覧の手動再取得

Custom Remote MCP の接続設定後に[ツールを読み込む]をクリックするだけで、
すぐに最新のツール一覧を確認できるようになりました。



1.19 その他の機能改善

- **最大出力トークンの最小値変更**
  エージェントの安定動作のため、エージェント作成時のオプションで指定できる「最大出力トークン」の最小値が 100 から 500 に変更されました。

- **ウィジェット機能の非推奨化(将来的な廃止)**
  ウィジェット機能が非推奨(Deprecated)となり、将来的に本機能はご利用いただけなくなります。

重要

- 今後は、従来のウィジェット機能に代わり、より柔軟で強力なカスタマイズが可能な「Web アプリ機能 」をぜひご活用ください。

1.20 不具合の修正

以下の不具合を解消しました。

・メンバー権限のユーザーに対して「指示の改善」機能が正常に動作していなかった事象を修正しました。

1.21 Lingo の機能改善、修正

Lingo において、以下の機能改善および不具合の修正を行いました。

1.21.1 機能改善

- **会議共有リンクのコピー機能改善**
  パスワード付きの会議共有リンクを、より簡単に共有できるよう改善しました。

- **AI 会議要約の Markdown 表示改善**
  見出し、リスト、表、コードブロックなどの Markdown 表示形式を最適化し、AI による要約内容をより読みやすくしました。

- **主要画面の初期ローディング高速化**
  会議一覧、カレンダー、設定などの主要画面において初期ローディング表示を改善し、ページ更新や画面遷移時の表示をよりスムーズにしました。

- **会議終了時の通知形式の変更**
  終了時の案内を従来のポップアップからトースト通知へ変更し、ユーザーの終了操作の流れを妨げないよう改善しました。

- **AI 音声処理の速度・安定性向上**
  AI 音声処理の応答速度と安定性を向上させ、処理時間が長くなる場合でも、予測しやすい動作となるよう調整しました。

- **リアルタイム接続状態の検知精度向上**
  リアルタイムの接続状態検知、および再接続の案内表示を改善し、ネットワークが不安定な環境でも正確に状態を表示できるようになりました。

- **サービス接続処理の効率化**
  同時接続数が多い場合でもサーバーリソースをより安定して利用できるよう、接続処理の効率を改善しました。

1.21.2 不具合修正

- **言語設定変更時の表示不具合の修正**
  言語設定の変更直後に画面遷移すると、一部の画面が変更前の言語で表示されることがある現象を修正しました。

- **会議タイトル編集時の重複入力の修正**
  会議タイトルの編集時に Enter キーを素早く押すと、最後の文字が重複して入力される問題を修正しました。

- **モバイル環境での画面切れの修正**
  モバイルブラウザにおいて、会議詳細画面の下部がアドレスバー領域に隠れてしまう現象を修正しました。

- **モバイル共有画面でのスクロール挙動の修正**
  モバイル環境の共有画面で、過去の会話履歴を確認するために上へスクロールした際、自動的に最下部へ戻ってしまう問題を修正しました。

- **共有画面でのリアルタイム表示の修正**
  共有画面において、現在の発話内容がリアルタイムに表示されない不具合を修正しました。

- **共有リンク設定時のポインター位置の修正**
  共有リンク設定画面で日付を変更する際、ポインターの位置が維持されない問題を修正しました。

- **共有設定画面でのパスワード表示の修正**
  共有設定画面において、初期状態からパスワードの入力値が表示されていた問題を修正しました。

・定期ミーティングの自動参加待機状態の修正

カレンダーの期間変更後も、定期ミーティングの自動参加待機状態が正しく表示されるよう修正しました。

・再接続処理中のカウンター表示の修正

再接続処理が継続している状況で、再試行回数に上限があるように見えていた誤ったカウンター表示を修正しました。

2　お問い合わせ先

ご不明点などがございましたら、以下よりお問い合わせください。
https://d.terrasky.jp/ProductSupport

3　免責事項

- 本リリースノートは 2026 年 6 月 16 日現在のものです。Salesforce および本製品は、定期的にアップデートされるため、記載内容と現在の動作が異なる場合は、現況を優先させていただきます。
- mitoco Buddy 利用規約については、こちらをご覧ください。
- 本リリースノートの内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- 本リリースノートの内容につきましては万全を期しておりますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。

製品サポート

製品情報

https://www.mitoco.net/mitocoBuddy

製品ユーザーガイド

https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide

お問い合わせ窓口

https://d.terrasky.jp/ProductSupport

mitoco Buddy 2026.06.16 リリースノート

リリース日： 2026 年 6 月 16 日

Copyright © TerraSky Co., Ltd. All Rights Reserved.